

ZERO マラリアキャンペーン in パプアニューギニア



実施国：南太平洋の島国・パプアニューギニアの東ニューブリテン州ココボ

ねらい：住民のマラリアに対する関心・知識の向上、協賛団体の活動PR

企画者：高野悠己（青年海外協力隊パプアニューギニア隊・感染症対策隊員。10月帰国）

協力者：Benedict Warwakai（東ニューブリテン州保健局マラリア対策オフィサー）

協賛団体：NGO「マラリア・ノーモア・ジャパン」様

実施期間：2018年8月から9月（2か月間）

対象：ココボ市内の小、中、高校、看護学校に通う生徒

参加人数：およそ500人

キャンペーン内容：

- ・マラリア蚊に関するスライド・講義
- ・マラリア・クイズ（○×方式。正解者にバッジ贈呈）
- ・マラリア予防啓発ソング&ミュージックビデオ上映
- ・ZERO マラリアキャンペーンのバナーと共に記念写真撮影

詳細：パプアニューギニアの三大感染症のひとつ、マラリアについてより身近に知ってもらおうと企画。啓発用のバナーと缶バッジをNGO マラリア・ノーモア・ジャパン様より支援頂き、保健局のマラリア担当職員と共に学校での出前授業を実施した。現地の人々はマラリアの存在は知っているものの、蚊についての生態や、症状、パプアニューギニアでの感染者数・死亡者数などは知らない。

スライドを使った講義だけではなく、蚊の生態に関するクイズを出題し、正解者には NGO から頂いた缶バッジを贈呈させて頂いた。皆、「かわいい」「デザインがよい」と喜んでいた。マラリア予防啓発の歌とミュージックビデオを紹介すると、生徒たちは目を輝かせて映像を見て、サビの「ノーモア・マラリア～」の部分をおさずさんでくれる生徒もいた。

パプアニューギニアの若者たちに、マラリアの予防方法や実態を楽しみながら理解してもらい、感染する人が一人でも減ってくれることを願っている。 (文・高野悠己)



↑マラリア・クイズに正解した生徒と。

↑真剣に講義を聞く高校生たち。



↑看護学校での ZERO マラリア講義

↑マラリア予防啓発ソング・レコーディング風景



↑協力してくれた保健局の同僚と (中央)

↑笑顔で記念撮影する生徒たち。